

情勢報告（平成 31 年 4 月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

目指せ甘とう栽培技術向上！～「土佐甘とう」作付け検討会を開催～



かん水管理の重要生について説明しました

3 月 18 日、土佐町で甘長トウガラシの作付け検討会が開催され、生産者 11 人が参加しました。

普及所は、かん水管理を中心とした定植前後の管理や、天敵を活用した害虫防除について説明しました。

生産者からは、「去年は尻腐れ果の発生が問題となったので、今年はかん水管理を徹底したい」という声が聞かれました。

普及所は JA と連携し、かん水、施肥管理の徹底や病害虫の適期防除を指導し、生産者の管理技術向上を支援します。

天敵の活用を進めよう！～IPM技術研修会を開催～



天敵製剤の新しい形態等を検討しました

3 月 27 日、JA 高知県れいほく IPM 研究会は、JA れいほく支所で IPM 技術研修会を開催し、計 10 名のピーマンや米ナスの生産者が参加しました。

普及所からは、影響を受けにくいスワルスキーカブリダニの環境のバック製剤と天敵の活用について紹介しました。参加者からは、露地栽培での土着天敵を導入しようといった意見が出されました。

普及所は、品目部会での現地検討会や IPM 研究会やで天敵の活用を推進していきます。

そろそろ法人化？～吉延営農組合集落営農塾（法人化編）～



法人化について意見交換する吉延営農組合員

3 月 27 日、本山町吉延公民館にて吉延営農組合員を対象に、地域農業推進課の職員を講師に招き、法人化について研修する集落営農塾（法人化編）を開催しました。

吉延営農組合は設立から 10 年以上経過しましたが、組織の後継者が育っておらず、組織と地域の今後について改めて考える時期に来ています。

講師からは「いずれ農地が集まってくる。今のうちに法人化して、頑張っている組織を支える仕組みを作るべき」とのアドバイスをいただきました。

参加者からは「将来 1 人雇用できる形を模索したい」、「法人化するなら後継者も参加させたい」などの意見が出ました。

今後も普及所は吉延営農組合の法人化を検討するため、研修などの開催を支援していきます。

イタドリの収穫が始まりました
～松木野営農組合イタドリ実証ほ収量調査～



大きくなっているかな？

土佐町のこうち型集落営農組織「松木野営農組合」では、新たな園芸品目の導入による経営発展を目指し、平成30年度からイタドリの試験栽培に取り組んでいます。普及所は協業栽培品目としてイタドリの有効性を検討するため、作業時間や栽培費用等を試算しており、4月12日から収量調査を開始しました。3月の低温の影響で出荷規格に沿ったイタドリはまだ多くありませんが、ほ場全体の株の生育は順調で、4月下旬以降の収量が期待できます。

普及所は今後とも集落営農組織の経営発展を支援します。